

ブランド米『いちほまれ』の品質・収量アップ↑を目指して!!

いちほまれ

いちほまれ栽培



No.7

【水管理の徹底で品質向上を】

JA福井県

7月も暑い日が続く中、今年は降水量も少なく水不足が心配されます。今後は、幼穂形成期を迎える時期となり、稲が水を必要とする時期になりますので干しすぎに注意しましょう。収穫直前まで間断通水による管理徹底を行い、根の活力を保ち丈夫な稲体で、品質向上に繋げましょう。今回の生育調査において連休移植では、幼穂長1mmを確認しています。



1. JA生育調査状況(7月9日現在)

①JA全体

年度	栽培区分	平均移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色
R7	移植	5月18日	72.8	547.3	4.3
過去平均		5月17日	72.7	509.0	4.1

②各地区の状況

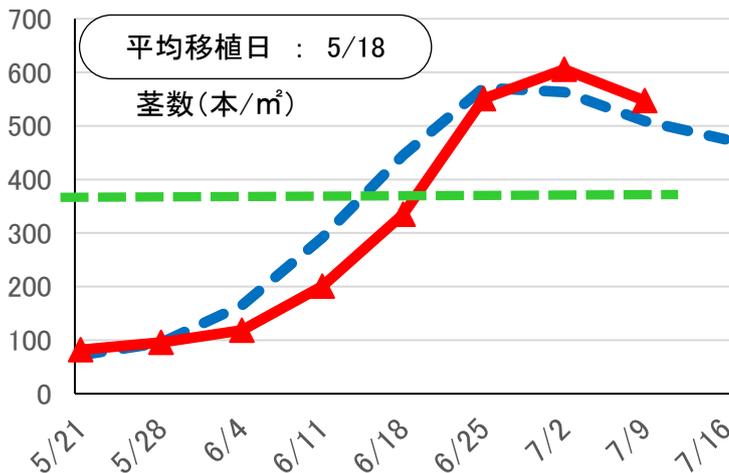
栽培区分	地区	平均移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色
移植	福井	5/18	78.3	538.1	4.4
	坂井	5/17	81.4	578.0	4.5
	奥越	5/15	68.9	529.5	4.1
	丹南	5/24	65.7	507.0	3.7
	嶺南	5/16	69.5	584.0	4.7

【平年比】

■草丈：平年並み ■茎数：多い ■葉色：やや濃い

2. 茎数の推移について

— 過去平均 — R7



いちほまれ移植 5/16 (三国支店管内)



3. いちほまれの今後の管理について

①斑点米カメムシ防除

カメムシの発生に注意!



福井農業試験場は、7月上旬の水田周辺雑草地における斑点米類の生息数は、平年より多いと発表しました。出穂していない水田内への侵入も多く確認され、今後もカメムシ類が増殖することが予測されます。斑点米カメムシ類の徹底した防除を行いましょう。

②間断通水の実施

幼穂形成期からの水管理(中干し終了後)浅水の通水を実施し、うわ根の発生促進や根の健全化に努めましょう。

収穫直前まで実施!



ブランド米「いちほまれ」のお問い合わせは、担当営農指導員までお願いします。